

大村市における農福連携の取組みについて

令和7年3月6日

大村ノウフクネットワーク 会長 相川 克也

農福連携セミナー「地域協議会」





自己紹介

大村
ノウフク
ネット
ワーク



名前 相川 克也

生まれ 1月25日生まれ / 長崎県大村市

経歴 セルプ大村（B型事業所）に勤務
・精神保健福祉士
・農福連携技術支援者（農林水産省認定）

好きな作物 自然薯、落花生

活動 大村ノウフクネットワーク 会長
大村市障がい者施設ネットワーク協議会 会長



事業所紹介

名称

社会福祉法人 共生会
就労継続支援B型事業所 セルプ大村

住所

大村市西部町 1016 番地 1

利用定員

34名（精神障がい・知的障がい・発達障害、
高次機能障がい）

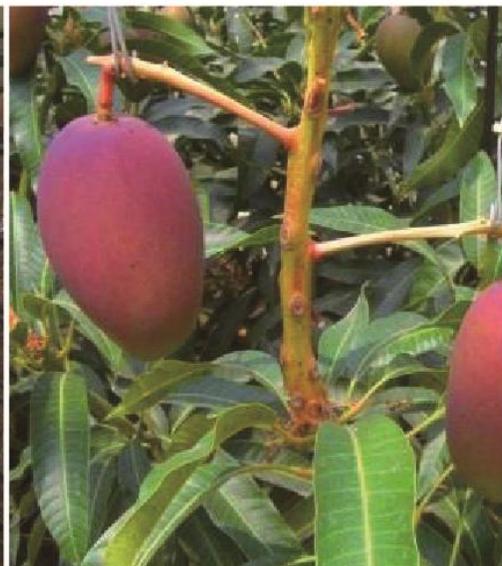
作業時間

9：15～16：00
月曜～金曜日 / 土曜日あり

主な作業

竹炭、菌床椎茸栽培、農作業、
食品加工、室内軽作業（ギフト作業等）

セルプ大村の取組

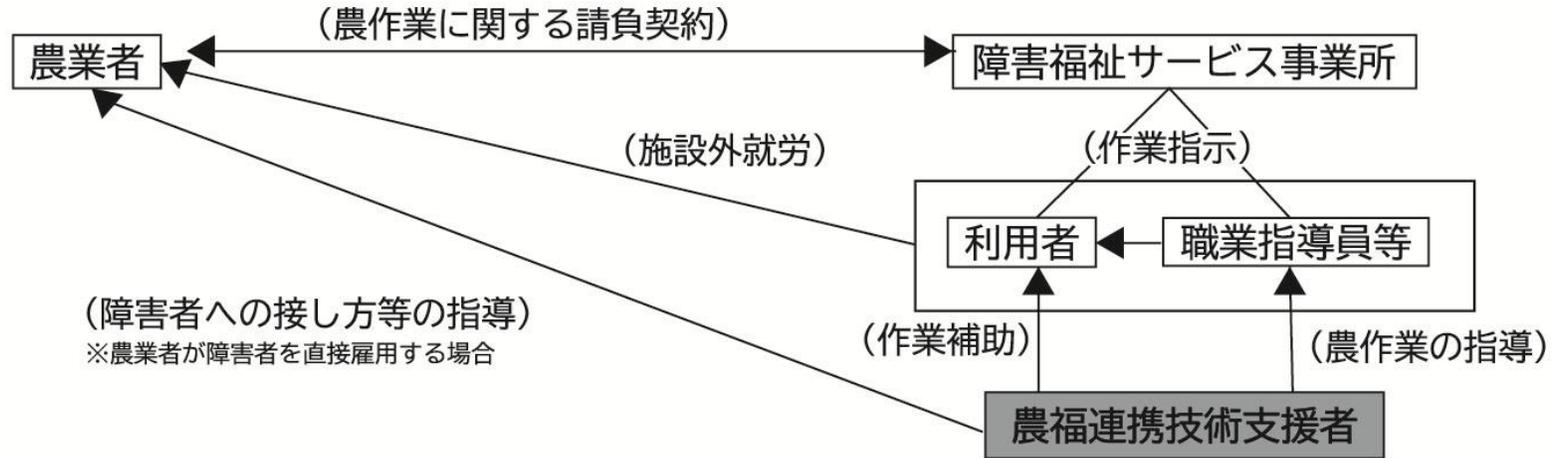


大村ノウフクネットワーク (技術支援・マッチング支援)

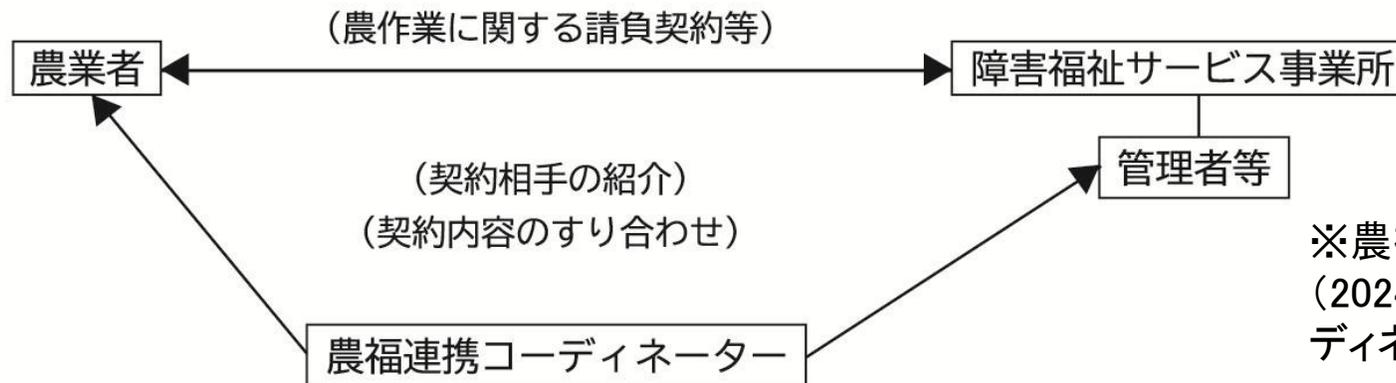


農福連携を推進していくために

【農福連携支援技術者の役割】



【農福連携コーディネーターの役割】



※農福連携等推進ビジョン
(2024改訂版)では「伴走型コー
ディネーター」が表記された

大村市における農福連携 取り組みについて



大村市の農業と福祉

大村市について



人口 99,510 人

世帯数 46,920 世帯

(令和6年10月末現在)

就労系障がい福祉サービス

事業所種別	施設数
就労移行支援	3
就労継続支援 (A型)	3
就労継続支援 (B型)	26

(重複施設あり)

平均工賃

令和4年度調べ

	全国	長崎県	大村市
就労継続支援事業所 (B型) 平均工賃	17,031 円	19,073 円	17,145 円

なぜ工賃を増やさなければならない？

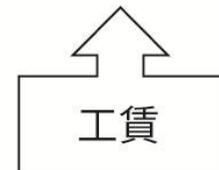
→障害者が地域で自立した生活をおくるため

(例) 生活保護費を最低生活費と仮定

大村市の

生活保護費 約 99,000 円 = 障害基礎年金 + 2~3万
(生活扶助+住宅扶助:平均値) (1級 85,000 円/2級 68,000 円)

工賃が増えれば生活が豊かに



大村市の農業と福祉

大村市農業の現状と課題

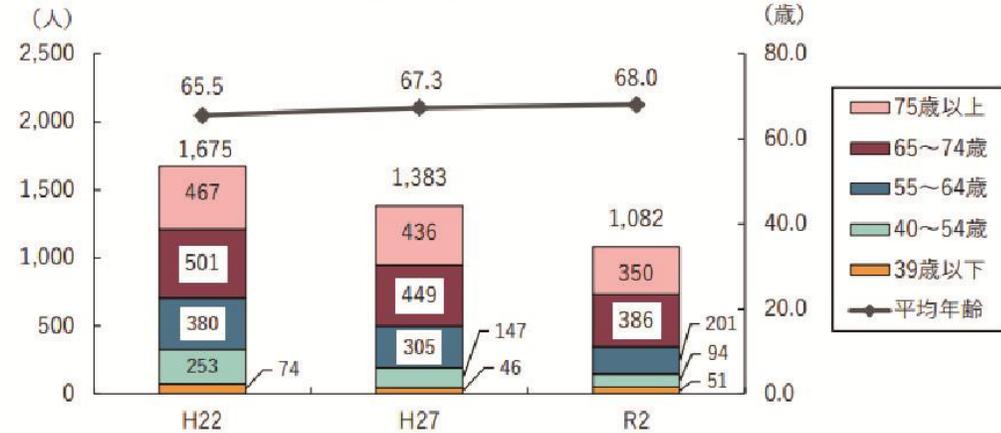
(表-1) 農業所得の比較

区分	農業所得階層別				
	400万円未満	400～599万円	600～999万円	1,000万円以上	計
全国 平成30年	主業農家の平均農業所得 662万円				
長崎県 平成30年	認定農業者の平均所得 530万円				
	認定農業者 【個別経営体】の経営体数	2,638 経営体	1,380 経営体	967 経営体	416 経営体
大村市 令和3年	認定農業者の平均所得 447万円				
	認定農業者 【個別経営体】の経営体数	96 経営体	80 経営体	18 経営体	7 経営体

資料：国民生活基礎調査の概況、第3期ながさき農林業・農山村活性化計画・大村市データ

平成30年の全国主業農家※5の平均農業所得が662万円であり、長崎県全体における認定農業者の平均農業所得は530万円（全国平均の80.1%）、本市における認定農業者の令和3年の平均農業所得は447万円となっています（表-1）

(図-7) 年齢別基幹的農業従事者数及び平均年齢



資料：農林業センサス

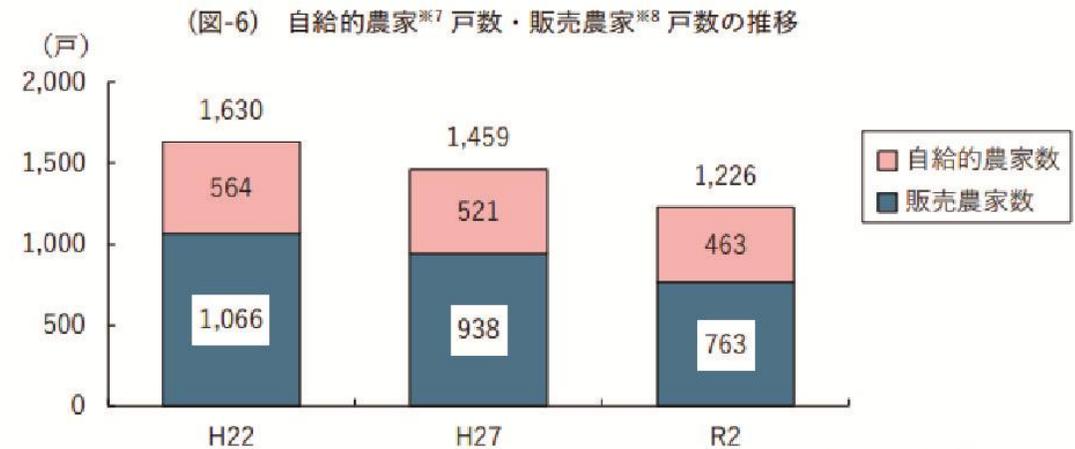
本市の基幹的農業従事者は高齢化が進んでおり、平均年齢で見ると、平成22年の65.5歳から、令和2年の68.0歳となっています（図-7）。年齢別にみると、40～54歳の農業就業者の減少が著しく、平成22年の253人から、令和2年の94人へ159人減り、減少率は62.8%となっています。また、全体に占める75歳以上の割合は、平成22年において27.9%であるのに対し、令和2年においては32.3%となっています。

大村市の農業と福祉

大村市農業の現状と課題



資料：農林業センサス



資料：農林業センサス

総農家数については、平成22年と令和2年を比較すると、全国では252万8千戸から174万7千戸へ30.9%減少し、長崎県全体は41,956戸から28,282戸へ32.6%減少と、近隣市町を含め、全国的に農家数が減少しています(図-5)。本市においても、総農家数は1,630戸から1,226戸へ24.8%減少しており、販売農家数も同様に1,066戸から763戸へ28.4%減少しています(図-6)。

農福連携で得られる効果

農福連携は、「農業における課題」、「福祉（障害のある人）における課題」の双方の、課題解決に役立つ Win-Win の取組みです。「農業」と「福祉」がつながることで、様々なメリットが生まれることが期待できます。

農業

課題

農業従事者の減少
高齢化等の進展、若い後継者が少ない
繁忙期の人で不足
小ロットの委託先が少ない

得られる効果

労働力の期待と確保
委託先の確保による6次産業で、収入が見込まれる
地域での取り組みで、農地管理の効率化が期待できる
社会貢献につながる（就労機会を提供）

福祉

課題

就労先での工賃（賃金）が少ない
意欲のある人が活躍できる場を増やす必要がある
障害者総合支援法及び、精神保健福祉法の下で、
自立した日常生活や社会生活の実現が求められている

得られる効果

雇用先の増加、工賃（賃金）向上
自然とのふれあいで、心のゆとりや情緒が安定
一般就労に向けての体力・精神面での訓練に有効
新たな職域による、社会参加の促進

連携

三浦・鈴田地区農福連携推進協議会について

(令和3年度～令和5年度)



協議会メンバー

- 大村市役所（農林水産振興課）
- JA 三鈴支店
- セルプ大村
- 三浦鈴田地区「いちご」「みかん」支部長
- 大村市役所（障がい福祉課）
- 大村市青年農業者会（4Hクラブ）

活動目的

農福連携を通じ新しい地域コミュニティの形成を目指す。農業と福祉が協力する農福連携のモデルケースとして三浦・鈴田地区で実践し、地域活性化へ繋げることを目的としています。

3 年計画

- 1 年目…協議会立ち上げ、ニーズの把握
- 2 年目…ニーズ調査をもとに農福連携実践
- 3 年目…農福連携の関心・実践の拡大

農福連携の種類

農福連携の取り組みは大きく分けて4つの形態があります（農林水産省の資料より）

1. 直接雇用型

農業者が障がい者を正社員やパート社員として直接雇用する

2. 福祉完結型

就労系障がい福祉サービス事業所が自ら農地を確保して単独で農業を行う

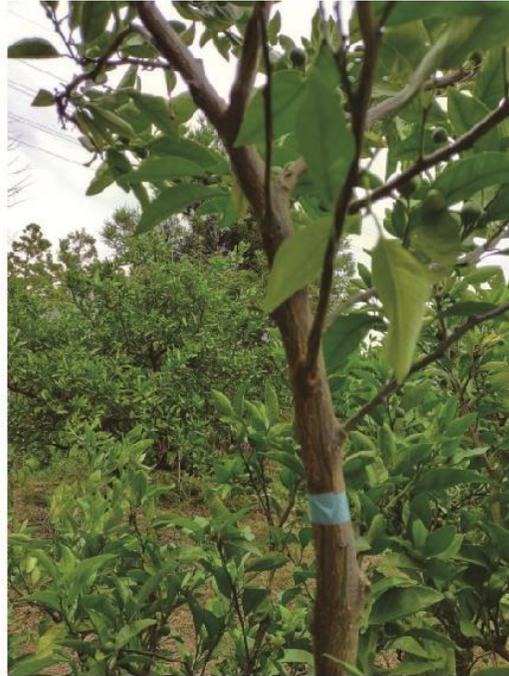
3. 連携型

農業者と外部の就労系障がい福祉サービス事業所の設置・運営法人が、農作業に関する請負契約を締結し施設利用者（障がい者）と職業指導員のユニットが農業者の圃場に通ったり、作業を事業所に持ち込む

4. グループ内連携

農業者が就労系障がい福祉サービス事業所及びその設置・運営法人を併設、または就労系障がい福祉サービス事業所の設置・運営法人が農業法人を併設し農作業を行う

農福連携の情報発信（農業者向け）



枝別摘果作業

【参加者】福祉事業所（職員・利用者）、大村市（農林水産振興課、障がい福祉課）、九州農政局長崎県拠点、長崎県県央振興局、JA 三鈴支店、みかん部会（三浦地区）

【内容】実際に農福連携の取り組みを見てもらい、活動を知ってもらう。



農福連携の情報発信（福祉向け）

事例報告



【参加者】福祉事業所（職員）、大村市障がい福祉課

【内容】大村市内における農福連携の実績報告

みかん収穫講習会



【参加者】福祉事業所（職員・利用者）、大村市障がい福祉課、九州農政局長崎県拠点、長崎県県央振興局

【内容】みかん収穫の方法・注意点を現場に入る前に実際に使用する道具を触り学ぶ

みかん作業の農福連携

(虹の原特別支援学校の先生も参加)

マルチ張り



上/施工前 下/施工後

マルチ張りを張り、パッカー留めで固定していく

農業イベントに福祉施設が初出店 (令和5年度)

中部地区アグリフェスタ納涼感謝祭



5事業所が参加。

※令和6年度 6事業所

海と大地の感謝祭



4事業所が参加。

※令和6年度 6事業所

新しいコミュニティ形成

人参収穫体験会



【参加者】大村市青年農業者会、放課後等デイサービス

大村市青年農業者会（4H）と放課後等デイサービスとのマッチング。令和4年度に4Hのプロジェクト事業で大村市の伝統野菜「黒田五寸人参」を栽培。収穫体験会を通して親子活動や、子どもたちが土を触る機会、地元の伝統野菜を知る機会（食育）等、新たな地域コミュニティの形成を図り、消費者等に対して「ノウフク」の認知に繋がった。

農福連携で得られた効果

令和5年度 21件の取り組み事例
2件のイベント出店

農業

課題

農業従事者の減少
高齢化等の進展、若い後継者が少ない
繁忙期の人で不足
小ロットの委託先が少ない

得られる効果

労働力の期待と確保
委託先の確保による6次産業で、収入が見込まれる
地域での取り組みで、農地管理の効率化が期待できる
社会貢献につながる（就労機会を提供）

- ・ 例年より早く作業を終わらせることが出来た
- ・ 時間を有効活用できた

福祉

課題

就労先での工賃（賃金）が少ない
意欲のある人が活躍できる場を増やす必要がある

得られる効果

雇用先の増加、工賃（賃金）向上
自然とのふれあいで、心のゆとりや情緒が安定
一般就労に向けての体力・精神面での訓練に有効
新たな職域による、社会参加の促進

- ・ 工賃向上に繋がった
- ・ 地域の人と交流できた
- ・ 利用者の意外な一面が見れた
- ・ 施設内でも積極的に作業に取り組むようになった



大村ノウフクネットワークについて（令和6年度～）

長崎県内唯一の農福連携協議会



大村市名産のゆでピーがモチーフ
太陽 = 産
三つの波は、「海・畝・山」大村の
自然をイメージ
落花生の中には大村市で力を入れている野菜が隠れています

活動目的

R3年度～ R5年度まで「三浦・鈴田地区農福連携推進協議会」で様々な取り組みを実践。その成果やノウハウを活用し、農福連携を大村市全域に推進するため、新組織を設立。農業者の労働力不足、障がい者施設の工賃向上等の双方の課題を解決していく。

構成員

- 福祉事業所
- 農業者
- 長崎県央農業協同組合 中部営農センター
- 県央地区農業士会協議会
- 大村市青年農業者会（4H クラブ）
- 大村市農林水産振興課 農業経営室
- 大村市障がい福祉課

大村ノウフクネットワークについて

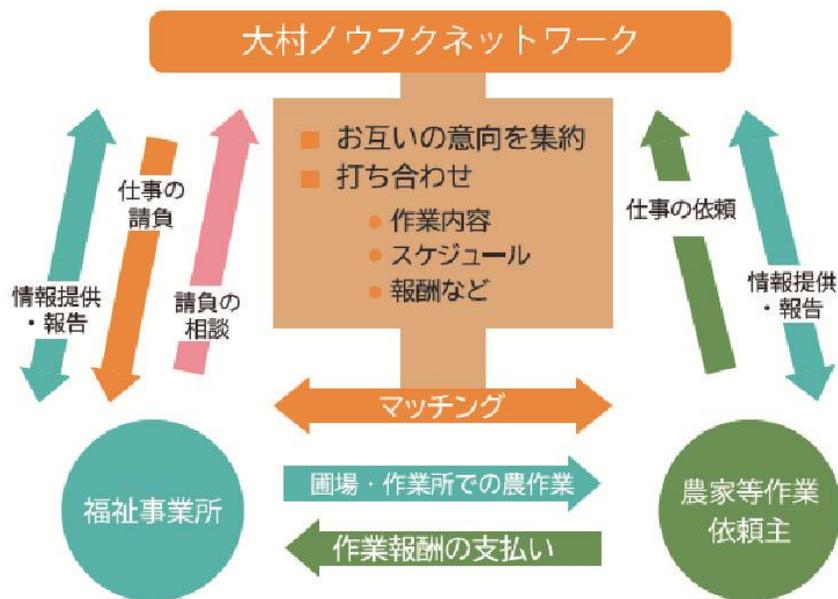
農福連携マッチング・農福連携技術支援（細分化・分析）【担当：相川】

福祉事業所

福祉事業所への聞き取り、見極め、農福の説明、作業内容の確認、単価設定、資料作成、福祉事業所への募集マッチング

農家等作業
依頼主

農業者の聞き取り、見極め、農福の説明、作業内容の確認、単価設定、資料作成、



ご相談の際は、

依頼したい内容をお伝えください

品目

みかん・いちご・じゃがいも・水稻・アスパラ・落花生など

時期

10月～12月・通年など

作業内容

定植・誘引・袋かけ・収穫・調整作業・剪定枝集め・段ボール組み立てなど

作業量

定植なら株数、
収穫なら面積・収穫量など

※打ち合わせ等を行うため作業予定日より1カ月程前までにご連絡ください。

農福連携マッチングの流れ

事前
打合せ

農福連携についての説明・作業内容の確認

- ・農福連携の注意点や確認事項の説明を行います
- ・作業内容、作業期間及び作業環境などを確認します

作業単価計算

- ・実際に作業を行い、1時間当たりの作業量を確認します
- ※コーディネーターなどが作業を行います
- ・1時間当たりの作業量と最低賃金を基に作業単価の計算を行います

福祉事業所の募集

- ・作業内容、作業期間、単価等を提示して事業所に募集をかけます

作業体験会

- ・希望のあった事業所に実際の作業を体験してもらいます

契約

- ・受託希望の事業所と農家の条件が合えば契約成立となります

マッ
チン
グ

細かな調整等、コーディネーターが事業所と農家の間に立ってお手伝いします！

農福連携取組事例



事例：山椒の収穫作業



1/26 県央地区農福連携研修会



2/21 山椒ノウフク説明



6/17 作業打合せ



6/18 事業所募集



7/17 作業開始

事例：山椒の収穫作業

【作業工程】

①山椒の実を見つける



②手を使い実を収穫し
かごに入れる



③移動する



④ ①から繰り返す

【内容】

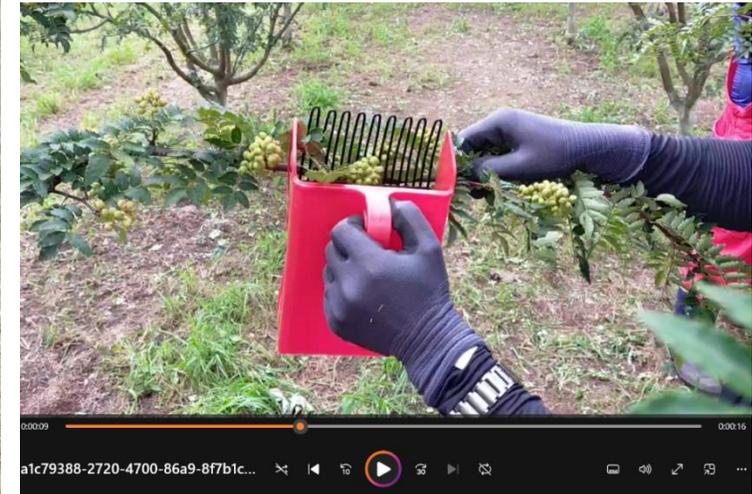
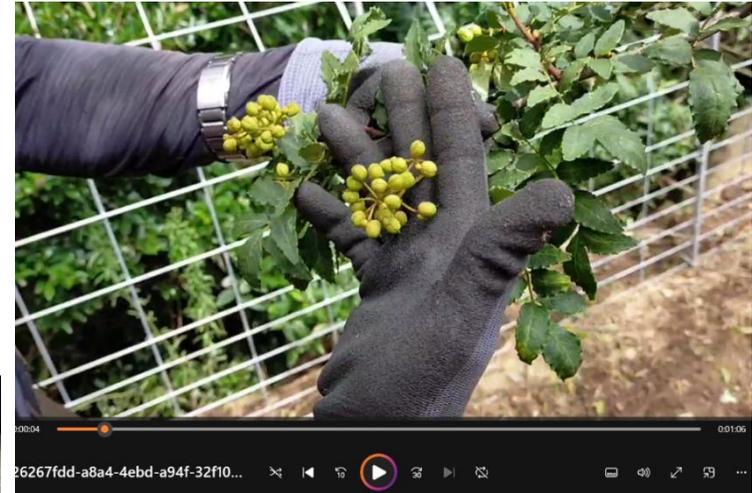


葉が付かないよう注意



収穫する際、引っ張る
方向は枝の向きに引く
ことで葉が付きにくい

事例：山椒の収穫作業



ブルーベリーピッカー

大村ノウフクネットワーク実績(令和6年2月末)

- 田の畦草刈り作業
- みかん摘蕾作業
- 山椒収穫作業
- アスパラハウス除草作業
- みかん摘果作業
- みかんマルチ張り作業
- 黒豆の除草作業
- 黒豆の除草作業
- ハウスきゅうり撤去作業
- ハウスきゅうり定植作業
- ハウストマト支柱たて作業
- 人参の除草作業
- みかんの収穫作業
- みかんマルチ片づけ作業
- みかん幼木マルチ剥ぎ作業

大村ノウフクネットワーク情報発信

令和6年度大村市障害者理解促進研修啓発事業

人の健康や生活を改善する 農園芸のチカラ

～農福連携・健康改善・認知症予防～

植物や園芸がうつ病、生活習慣病、認知症の予防になる?! 農作業に携わる障がい者にも健康改善が見られる話など、科学的根拠を基に、農園芸の力を分かりやすく説明します

令和6年

10/5 (土)

入場
無料

13:30～15:00

(開場 13:00)

プラザおおむらホール

手話通訳・要約筆記あり

定員 130名 (事前申込制)

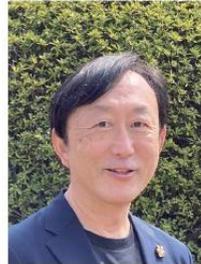
<申込方法> 裏面申込書・
申込フォーム (QRコード)

申込締切

9/20(金)



申込 QR



講師 兵庫県立大学大学院
緑環境景観マネジメント研究科 教授

豊田 正博 氏

園芸療法を活用した障がい者の就労支援(農福連携)や
認知症予防などを研究。兵庫県農福連携支援アドバイザー。
令和2年度から農林水産省の農福連携技術支援者養成
研修講師としても活躍中。

大村市障がい福祉課

〒856-0832 大村市本町458番地2プラザおおむら2階 TEL: 0957-20-7306 FAX: 0957-47-5419
■窓口・電話対応日 月曜日～金曜日(祝日は除く) 8:30～17:15

主催：大村市障がい福祉課

第1回 さくらまるしえ 10/5 (土) 10:30～14:00
ミライオン図書館 雨天決行

ハッチロック (ローズヒップゼボン) 大村市青年農業委員会 (ピエール・ピエール・ピエール、新井、ドワイブール・アサヒ)

すずらん (山崎) ショコラトリー (チョコレート) #NCS 農業女子 (山崎、山崎、ドワイブール・アサヒ)

Kurinchi (ピエール・ピエール) cocofie (ピエール・ピエール)

akko knot (山崎) Kotori (山崎) unique works (ピエール・ピエール)

Okacchi (山崎)

パールハイム (ピエール・ピエール、スタンクリューム、家)

大村市 農福連携の
これからと展

2024.10.5
ミライオン
LIBRARY & HISTORY MUSEUM
1階 ギャラリー

「大村ノウフクネットワーク」
は今年6月に設立
農福連携の取り組みを推進するためのネットワークとして令和3年度から
活動を開始しました。令和5年度は農福連携推進協議会での取り組み
の発表や、市民の皆さんへの説明会など、多くの障がい者
の皆さんと交流する機会をもちました。令和6年度は、農福連携の
取り組みをさらに推進し、障がい者の就業支援や認知症予防などの
取り組みを推進し、市民の皆さんと交流する機会をもち、大村市
の発展に貢献していきます。

「生涯、新田地区農福連携推進協議会」
令和5年10月設立。令和6年3月
農業者の高齢化に伴い労働力不足の改善のため、農業
分野での障がい者の就業支援や認知症予防の取り組みを
はじめ、障がい者や高齢者の就業支援や認知症予防の
社会事業の推進を図るなど、農業と福祉が結びつき、農
福連携の推進を図ります。令和6年度は、障がい者と農業
との関係性をさらに深め、市民の皆さんと交流する機会を
もちます。

主 催：大村市(農林水産振興課)
協 力：大村ノウフクネットワーク、大村市青年農業委員会、
ハンドメイド作家有志、#NCS 農業女子、大村パールハイム、
民間企業 (香川県産 SAKURAYA (さくらやうば) の問い合わせ先: 0957-56-9670

多言語にしたい方は
ミライオン図書館の多言語対応デスクまでお問い合わせください。

主催：大村市農林水産振興課



大村ノウフクネットワーク情報発信



12月3～9日は障がい者週間

マルチ張り・マルチ片付け(みかん)

施設利用者で、マルチを張る作業とマルチを片付ける作業を行います。産社事業所職員の声だけで、産石の置き忘れがないか、断然なくマルチを張れているか確認します。

現場の声

施設利用者 Aさん: 施設利用作業は楽しいです。「ありがとう」と言ってもらえて嬉しいです。

産社事業所職員: 利用者さんたちは地域の人と交流することが有意となり、施設内の作業にも積極的に取り組めるようになりました。また、農福連携に取り組むことで、工賃向上につながっています。

農家: 思ったよりも作業が早く、また、お話ししたいと思いました。

農作物の加工

福祉事業所の産で採れた作物や、農家から仕入れた作物を使って加工品を作っています。アクセサリーなどの加工品もあります。

持ち込み作業

指定された産取り作業

福祉事業所内での作業も行います。産に行けない施設利用者も農福連携に関わっています。

購入するには

- おやつみかん・産石たまねぎなど……セルア大村店 ☎53-7511
- アクセサリーなど……SAKURA ☎56-9670

障がいについて知ろう

「めねぎのうえんのか・ガ・ガーン」
文: 松 多恵美 (合同出版)

障がいのある人が働く農園での英語をもとにした絵本です。この本のほかにも、12月にはミライオン図書館で、「農福連携」や「障がい」に関する本を展示します。本を通じて、「農福連携」や「障がい」について考えてみませんか？

ミライオン図書館 ☎48-7700

12月3日～9日 | 障がい者週間

「農業」×「福祉」

「農福連携ってなんだ？」

誰もが生きやすい「共生社会」を実現するために、産社分科と福祉分科が連携した取り組みのことで、産石の産石不足、「産社」の工賃向上という、お互いの課題が解決されると期待されています。本市では、令和3年10月から三浦・新田地区をモデルケースとして農福連携の推進に取り組んできましたが、今年6月から新たに「大村ノウフクネットワーク」が設立され、市内全域に広がる活動が始まりました。

●障がい福祉課 ☎20-7306

お気軽にご相談を!

農福連携のめねぎのうえんのかは、産社分科と福祉分科が連携した取り組みのことで、産石の産石不足、「産社」の工賃向上という、お互いの課題が解決されると期待されています。本市では、令和3年10月から三浦・新田地区をモデルケースとして農福連携の推進に取り組んできましたが、今年6月から新たに「大村ノウフクネットワーク」が設立され、市内全域に広がる活動が始まりました。

●大村ノウフクネットワーク (セルア大村) ☎53-7511

取組み紹介 産社分科 × 福祉分科 × 農家

福祉事業所職員と一緒に

作業には必ず、福祉事業所の職員が同行します。福祉事業所職員は、農業者から作業手順の説明を受け、施設利用者(障がい者)に作業を指示します。作業は、施設利用者が行います。福祉事業所職員は労働力ではありません(同行する福祉事業所職員の派遣費用は不要)。

これまでの実績

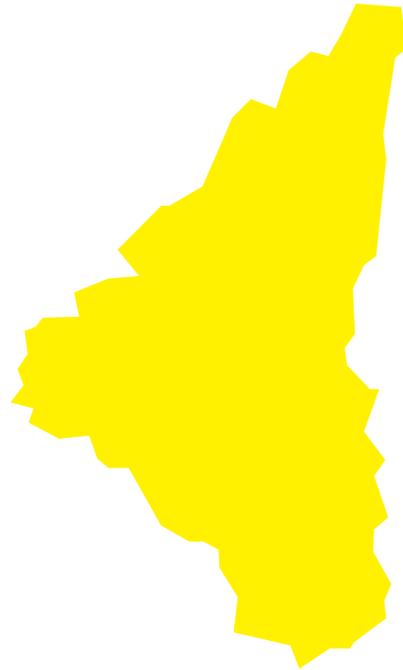
- みかん作業……坊木園 | 産石摘み | マルチ張り・片付け | あかんの産れ・産れ減らし | 収穫・運搬 | 産石片付け
- キュウリ・レタス・アスパラ作業 | ハウス内除草・草取り作業
- 産石持ち込み作業……産石たまねぎ | 産石 | ガードネット切り作業 | 産石作り | 農作物の加工

障がい者週間を兼ねて、毎年障がい福祉課で特集記事を組んでいる。今年も農福連携をテーマにした。市内農福連携の取組みについて周知拡大を図る。

まとめ

～地域モデルから県モデルを目指して～

三浦・鈴田地区



まとめ

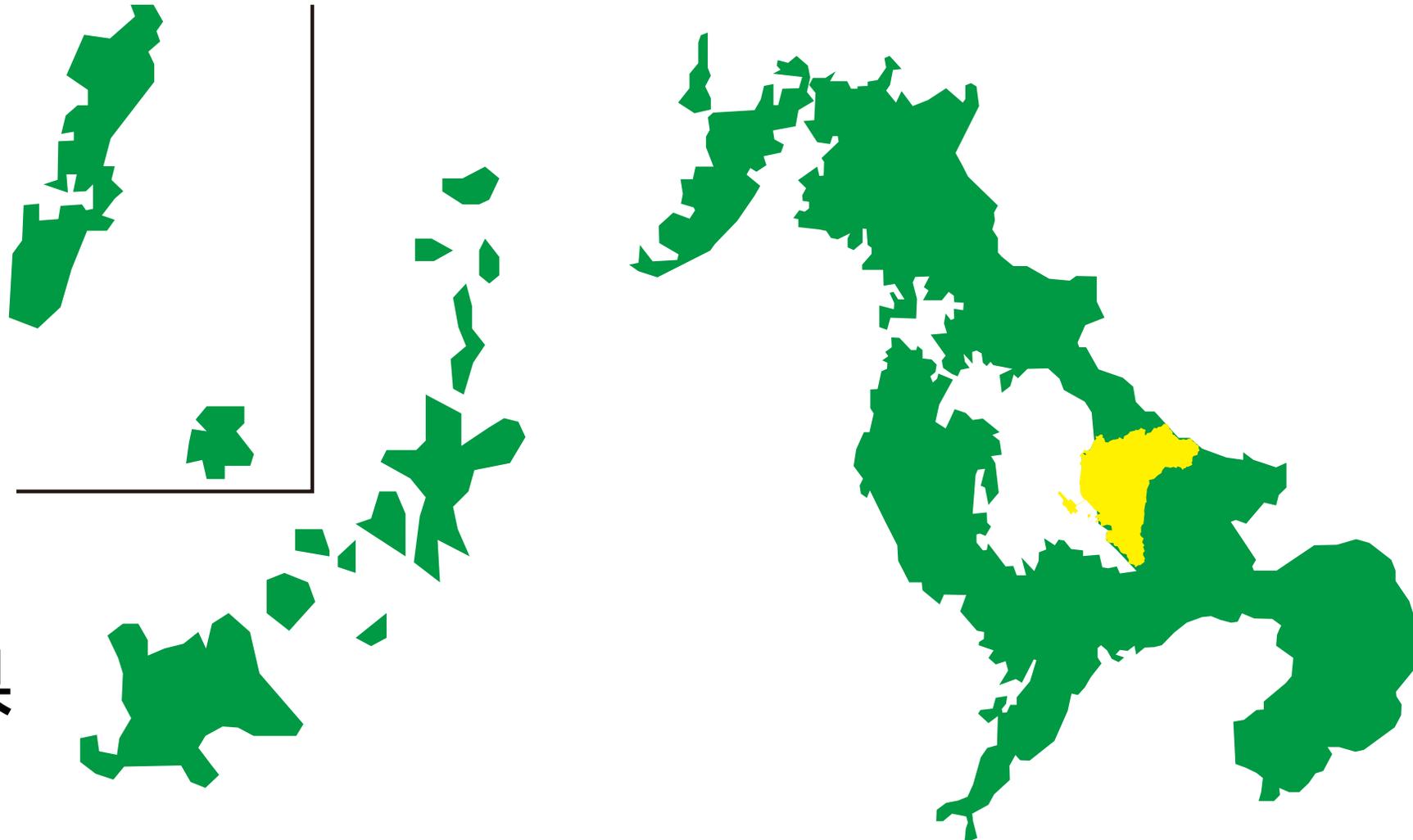
～地域モデルから県モデルを目指して～

大村市



まとめ

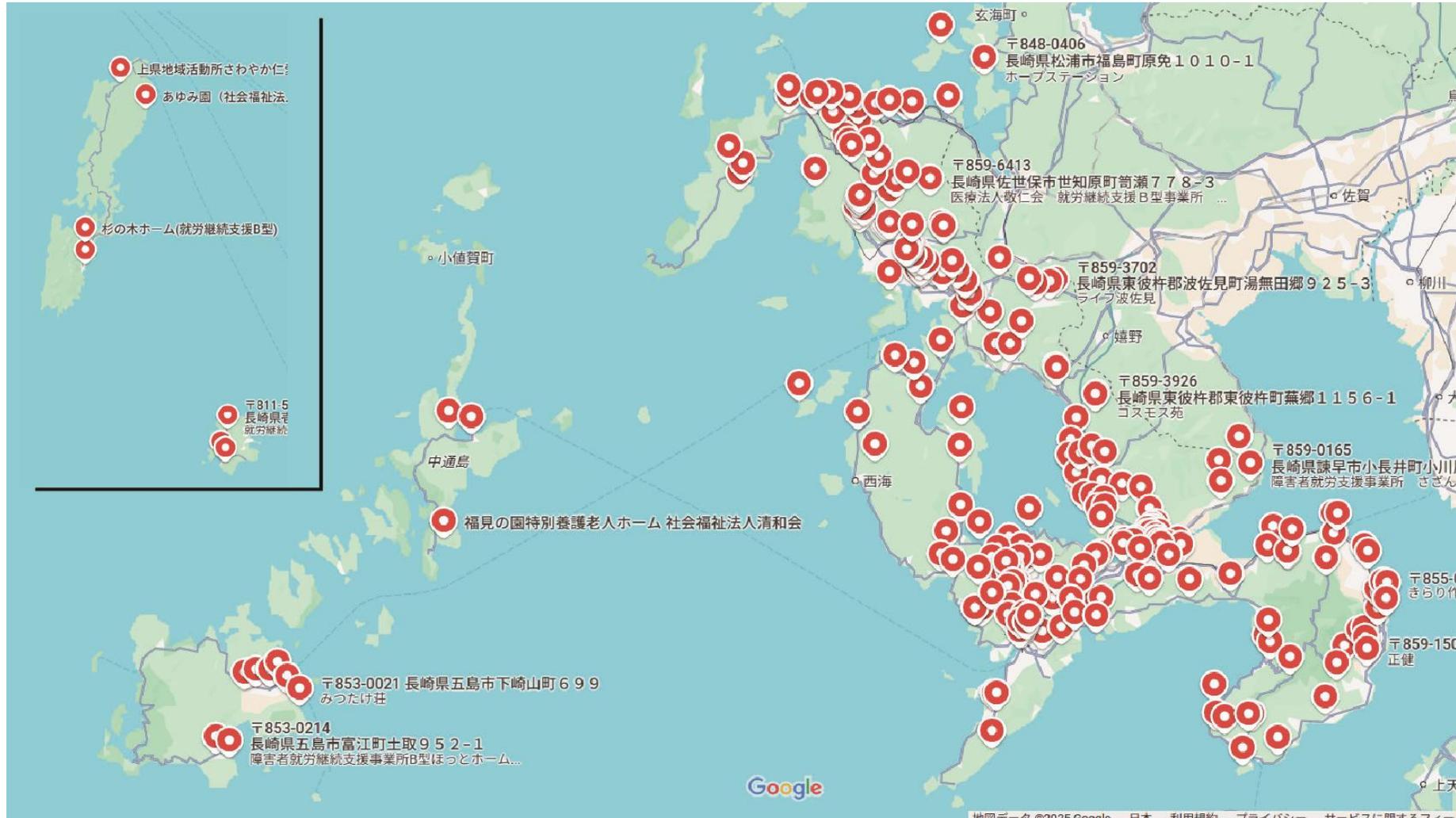
～地域モデルから県モデルを目指して～



長崎県

まとめ

～地域モデルから県モデルを目指して～



長崎県
B型事業所数
293事業所

活動テーマ

「ノウフクから始めるまちづくり」

「ノウフクから始まる人繋ぎ」



ご清聴ありがとうございました

ご縁に感謝！

